

「山口まちづくりファンド」 1号案件 記念セレモニー



右から 国土交通省 太田室長、信金中央金庫中国支店 三浦支店長、当機構 柳瀬部長、萩山口信用金庫 梶山理事長、合同会社こめかつ 川口氏、山口市 野村地域経済担当参与、株式会社街づくり山口 北條氏、萩山口信用金庫 鈴川常勤理事

令和5年11月10日（金）、萩山口信用金庫の主催により、「山口まちづくりファンド1号案件 記念セレモニー」が開催されました。

本ファンドは、[マネジメント型まちづくりファンド支援業務](#)の一環として当機構と萩山口信用金庫が令和4年12月に設立しました。山口市の中心市街地を投資対象エリアとし、空き店舗や遊休不動産などのリノベーションや新築・物件取得などにより、飲食施設、宿泊施設、交流施設、イベント施設、体験施設、貸しオフィスなどの施設を整備・運営することで、空き店舗等を解消し、商店街店舗の多様性と連続性を確保し、まちのにぎわいの維持向上を図ろうとするものです。

本ファンドの1号投資案件について、合同会社こめかつが、米屋町プライムマークス1階店舗を取得し、株式会社街づくり山口がRIZAP株式会社の運営するchocoZAPを誘致し、当施設において24時間無人フィットネスジムを運営します。フィットネスジムの出店により、老若男女問わず、更なる人流が増加することによって、中心市街地エリア全体の賑わいの創出および商店街としてのエリア価値の向上に繋がると考えております。

山口市のまちづくりに貢献できることは、大変意義深いことと考えており、今後とも、地域の皆様のまちづくりにお役に立てるように努めて参ります。